

○参加報道機関（敬称略）

信濃毎日新聞社飯田支社、毎日新聞飯田通信部、読売新聞飯田通信部、中日新聞飯田支局、南信州新聞社、ICTV(株)飯田ケーブルテレビ

○会見内容（敬称略）

進行【秘書広報課長】

1 開会

2 市長あいさつ

職員が当て逃げ事故を起こしたことにに関して申し上げます。

先日記者会見したとおり、この度、市立病院の付属機関である高松診療所の技師が当て逃げ事故という不祥事を起こし、その後の調査により、事故直前まで飲酒をしていたという事実が判明しました。被害に遭われた方々をはじめ、関係する皆様に多大なるご迷惑をおかけしたことに對しまして、改めて、心からお詫び申し上げます。また、当市に対する信頼や社会的信用を著しく失墜させたことに對しまして、誠に申し訳なく、重ねてお詫び申し上げます。

職員による度重なる不祥事については、その都度、市の全ての組織において、職員一丸となって再発防止、信頼回復の取り組みを積み重ねてきたところですが、このような事案がまたしても起きたことは、痛恨の極みです。当該職員については、既に発表したとおり、4月27日付けで懲戒免職処分とし、同日、飯田市立病院院長からは給与の10%（1カ月）の返納の申し出があり、これを受け入れました。私自身についても飯田市立病院の設置者として給与の10%（1カ月）の減額を次の議会に諮らせていただき、自らの責任を明確にいたしたいと考えています。

全ての職員が今回の事案を自らのことと認識するために、各部署において改めて交通事故防止に向けて徹底的に話し合いを行い、飲酒運転撲滅に合わせた取り組みを自ら宣誓し、その内容を執務室内に掲示し、あらゆる機会を通じて互いに注意喚起するよう指示しました。

職員の服務規律および法令の遵守を徹底し、市民の皆様方の信頼を損なう不祥事を今後二度と起こすことがないよう、全職員一丸となって常に緊張感を持って職務に精励し、仕事の成果を通じて信頼の回復を図っていきますよう、取り組んで参る次第です。

〈当て逃げ事故に関する質疑応答〉

南信州新聞

2015年から相次いで不祥事が起きていますが、再発防止の対策はどのように考えていますか。

飯田市長

こうした不祥事が続いて起きてしまうということは、誠に痛恨の極みです。そうしたことがなぜ起きてしまうのかということと徹底的に話し合うことが必要だと思っています。起きたことに対して、他人事のように自分のことではないと捉えるのではなく、自らの行動もしっかりと振り返り、こうしたことが起こらない環境をどのようにつくるかについて考えることが大事だと思います。それぞれの自覚に任せるのではなく、職場全体でしっかりと取り組んでいく環境作りこそが私は重要だと思っており、そういったことを各職場で徹底的に話し合うように指示しました。

毎日新聞

院長の給与返納の話は後付けの対応ではないでしょうか。また、今後厳しい罰則規定を設ける必要があると思うのですがどうでしょうか。

飯田市長

院長の給与返納については、先日の記者会見の際にご説明していませんでしたが、記者会見の前に申し出があり、事前に決定していたことです。

今回の当事者への処分は、大変厳しい処分を科さざるを得ませんでした。また、私自身も病院の設置者として、今回の事案を非常に残念に思っており、責任を痛感する中で、私自身も議会に給料の減額を諮らせていただくことを決断しました。これは単にトップがこうした対応をすればそれで済むことではないということは、職員にもずっと示してきているところで、今回の話は本当にこれで最後にしてほしいという気持ちをもって私もその対応に取り組んでいきたいと考えています。

総務部長

27日の記者会見終了後に緊急の部長会を開催し、市長から、この事案について各職場で話し合い、職員一人一人に自分のこととして自覚させるよう指示がありました。今後行う再発防止策を目に見える形で成果に結び付けていきたいと考えています。

毎日新聞

今後、具体的にどのようなことに取り組むのか教えてください。

総務部長

飲酒運転根絶に向けた宣誓につきましては、今回は各職場での徹底した話し合いの結果で、自分の意識を持った宣誓文を作成し、職員が共有できるグループウェアに掲載することでそれぞれの自覚を高める取り組みをしていきます。市立病院では9月末までの職員同士の飲酒機会の自粛、市立病院以外の職場においても6月末までの職員同士の飲酒機会を自粛する旨を決定いたしました。これは職員一人一人に当事者意識を持ってもらうために実施するものです。また、5月10日には交通講話が当初から予定されていましたが、今回の事案について踏み込んだ内容にすることとしています。

中日新聞

当該職員への行政処分は出ているのでしょうか。

総務部長

5月末以降ということしかわかりません。

中日新聞

当該職員が当て逃げ事故をした後に帰宅し、駐車した場所が自宅ではなく別の駐車場という話を聞いたのですが、事実かどうか、また、隠蔽などの意図があったのか教えてください。

総務部長

事故当日は自宅まで運転していて、翌日通勤途中に別の駐車場に置いてタクシーで通勤したということです。車輛を見えないところへ隠したという状況ではありませんでした。

南信州新聞

病院関係職員は公務員としての自覚があまり無いのではないかと感じています。そのあたり、どう自覚を高めていくのか考えを教えてください。

総務部長

職員採用の段階、あるいはあらゆる研修の機会を捉えて、公務員としての教育訓練をしてきたつもりでしたが、ここまで連続して事案が発生したことを真摯に受け止め、職員教育の方法を更に工夫し、公務員意識をしっかり植え付けていきたいと考えています。

南信州新聞

行政処分の結果を受けてから、更なる処分を検討することもあるのでしょうか。

総務部長

今回は、逮捕、検挙案件以外の処分まで含めて処分をしました。今後は基準の在り方など、検証していきたいと思っています。

中日新聞

再発防止策で今までのものから改善することや新たに取り組むことなどはありますか。

総務部長

宣誓文については、今までは職場単位で作成し掲示するにとどまっていたましたが、職員同士の話し合いの結果、職員が自分の意志を書いた宣誓文を、各職員が互いに見ることができるグループウェア上に掲載することで、話し合いの結果や宣誓の内容の見える化したことが、今回強化した点です。それから交通講話については病院としても複数回実施することとしており、シフトなどの都合に関わらず全職員が出席できる環境を整えました。

中日新聞

病院であれば、交通事故に遭われた方の状況や、その家族の悲しさに接している職員もいると思いますので、そういった職員が話をする機会を設けたり、飲酒運転の感覚を仮想現実で体験できる方法もあるので、そういうことに取り組んだりなど、もう少し踏み込んだ研修もしてみたいと思います。

飯田市長

ありがたいご意見をいただいたので参考にさせていただきます。

毎日新聞

酒気帯び運転や飲酒運転に対する処分の規程をより厳しくすべきだと思いますが、いかがですか。

総務部長

社会的規範に照らし合わせて必要なことについては検証して検討していかなければいけないと考えています。

3 発表事項

(1) 第10回竹宵まつり&ナガノシードルコレクションin飯田について【産業経済部】

資料にもとづき説明

説明者：百万人のキャンドルナイト in 南信州実行委員会会長、NPO国際りんご・シードル振興会副理事長、商業・市街地活性課

〈質疑応答〉

読売新聞

昨年は前売り券が350枚ということですが、今年は何枚ご用意されていますか。

NPO国際りんご・シードル振興会

今年500枚用意しています。

南信州新聞

「シードル飲んでスクラッチ！キャンペーン」の協賛店は何店ありますか。

NPO国際りんご・シードル振興会

飯田市、高森町、松川町の32店が協賛いただいています。

南信州新聞

雨天時の対応を教えてください。

飯田市

荒天でない限り実施したいと考えています。

4 その他

特になし

この内容については、言葉遣いや言い回しなどを整理した上で作成しています。

(作成：秘書広報課広報広聴係)